

2024年5月29日

報道各位

株式会社いい生活

## 【いい生活 Square】掲載物件数 20 万件突破！

不動産市場の業務効率と業務標準化を促進

～いい生活 Square 登録物件数は 500 万件以上に～

不動産業務を網羅するパーティカル SaaS と業務効率を推進する BPaaS (※1) で不動産市場の DX を推進する株式会社いい生活 (東京都港区、代表取締役社長 CEO：前野 善一、東証スタンダード：3796、以下：いい生活) が提供する「いい生活 Square」は、2024年5月に掲載物件数 20 万件を突破しました。



### ■ 背景と概要

入居希望者が賃貸物件に入居するまでには、不動産管理会社と賃貸仲介会社の間で多くのやり取りが発生しています。不動産管理会社が空室情報を掲載する業者間流通サイトに更新タイムラグがあると、賃貸仲介会社は空室であるか確認する必要があります。また、内見予約にはじまり、入居申込や審査など入居までの多くのやり取りを電話に頼っているため、業務効率があがりにくい課題がありました。

「いい生活 Square」は、リアルタイムに情報連携が可能な賃貸業者間流通サイトで、内見予約や入居申込、審査や付帯取次に至る仲介と管理の各不動産会社のやり取りをクラウド上で行えます。リアルタイムな情報流通とクラウドによるコミュニケーションにより、不動産管理会社と賃貸仲介会社の業務効率が向上し、入居希望者の満足度にもつながるソリューションです。

2024年5月、「いい生活 Square」に流通する空室物件掲載数が20万件を突破しました。リアルタイムに検索できる空室物件が増えることで、入居希望者のニーズにあった物件を賃貸仲介会社がタイムラグなく紹介できるだけでなく、全国の不動産管理会社と賃貸仲介会社のクラウドを通してのコミュニケーション量が増えることで、1事業者あたり月60物件の確認やり取りに電話やFAXを使っていた場合は、月に30時間分の業務時間の削減を見込め（※2）、管理と仲介の両会社が抱える業務課題の解決につながります。さらに、クラウドサービスの利用が進むことで不動産市場全体の業務標準化が進み、国土交通省が期待する不動産DX（※3）も後押しします。

※1 BPaaS：Business Process as a Service の略でクラウド上で業務プロセスをアウトソーシングすること

※2 2023年2月実績に基づき「いい生活 Square」チャット機能を用いた当社推計

※3 「不動産分野におけるDXの推進について」（<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001710694.pdf>）

## ● 会社概要

いい生活は「テクノロジーと心で、たくさんのいい生活を」ミッションに掲げ、不動産業務クラウドサービス、不動産プラットフォームサービスを提供する「不動産テック」企業です。不動産市場の法改正やIT化に迅速柔軟に対応し、不動産業務を網羅するフルラインナップのSaaSで不動産市場のDXを推進しています。いい生活は、不動産市場に関連する企業はもちろん日本各地のエリアに寄り添ったソリューションで、「心地いいくらしが循環する、社会のしくみをつくる」ビジョン実現を目指します。

- 商号：株式会社いい生活
- 所在地：東京都港区南麻布五丁目2番32号 興和広尾ビル 3F
- 設立：2000年1月21日
- 資本金：628,411,540円（2023年3月末現在）
- コーポレートサイト：<https://www.e-seikatsu.info>
- サービスサイト：<https://www.es-service.net/service/square>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社いい生活 広報室 橋本

TEL：03-5423-7836（平日9時～18時）

E-Mail：[contact.pr@e-seikatsu.co.jp](mailto:contact.pr@e-seikatsu.co.jp)